

〇概ね5年で実施する取組

項目	事項	内容	記号	四万十市				高知県				気象台				国土地理院				四国地整							
				実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定				
1. ハード対策の主な取組																											
■洪水を河川内で安全に流す対策																											
		【四万十川】 ・具岡・入田箇所での堤防断面確保 ・井沢箇所の堤防断面確保 ・下田箇所の堤防断面確保 ・初崎箇所の堤防整備 【中筋川】 ・横瀬川ダムの建設 【全河川】 ・重要インフラの緊急点検	S																		【四万十川】 ・具岡・入田箇所の堤防断面確保 【四万十川】 ・井沢箇所の堤防断面確保 ・下田箇所の堤防断面確保 ・初崎箇所の堤防整備 【中筋川】 ・横瀬川ダムの建設 【全河川】 ・重要インフラの緊急点検	平成28年度～平成32年度	具岡・入田箇所の堤防整備を実施済 下田、初崎箇所の堤防整備を実施中。 横瀬川ダムの建設を推進。 重要インフラの緊急点検を実施中（樹木伐採、河運阻害）	継続して事業を実施			
■堤防構造の工夫による被害を軽減するための対策																											
		【四万十川】 ・佐田箇所の堤防天端の保護及び法尻の補強 ・百美箇所の堤防天端の保護 ・山崎箇所の堤防法尻の補強 【後川】 ・藤岡箇所の堤防天端の保護 ・佐岡箇所の堤防法尻の補強 【中筋川】 ・九樹箇所の堤防天端の保護	S																		【四万十川】 ・佐田箇所の堤防天端の保護及び法尻の補強 ・百美箇所の堤防天端の保護 ・山崎箇所の堤防法尻の補強 【後川】 ・藤岡箇所の堤防天端の保護 ・佐岡箇所の堤防法尻の補強 【中筋川】 ・九樹箇所の堤防天端の保護	～平成32年度	佐田、百美、藤岡、九樹箇所の堤防天端の保護完了（平成29年3月） 佐田、山崎、佐岡箇所の堤防法尻補強の工事完了。（平成29年6月）	完了			
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																											
①		避難行動に必要なCCTVカメラを夜間監視可能な高感度カメラに更新 危機管理型水位計設置、河川監視用カメラ設置、水文観測所の停電対策配付	I, G					<危機管理型水位計> <危機管理型水位計配置計画に基づいて、順次整備を実施。> 平成30年度	<危機管理型水位計> 整備済み												・機器更新において、夜間に映像が確認できるようCCTVカメラを高感度カメラに更新 <危機管理型水位計> <危機管理型水位計配置計画に基づいて、順次整備を実施。>	平成29年度～令和元年度	津波道上区間に設置している17箇所のCCTVを更新。（H29.9月末完了） <危機管理型水位計> 整備済み				
		排水ポンプ車作業ヤードの整備	V																			・関係機関と連携して作業ヤード整備の必要性の検討及び整備	令和元年～	未実施	排水計画に基づき、必要に応じて排水ポンプ車作業ヤードの整備予定（令和元年9月頃～）		
		相ノ沢総合内水対策計画に基づくハード対策	G					<河川監視用カメラ> ・設置目的に応じた簡易河川監視用カメラの設置 平成30年度～	<河川監視用カメラ> ・相ノ沢川で既存のカメラ有 必要に応じて設置を検討													・既設橋脚排水機場の操作運用の改善、既設の雨水貯留施設の有効活用を実施	平成28年度～	継続して実施	相ノ沢川及び鳥籠川の河川改修、橋島川放水路の新設を実施 平成29年度～	相ノ沢川及び鳥籠川の河川改修、放水路周辺の用排水系統の調査を実施（平成29年12月完了） ・放水路予備設計を実施（平成30年3月完了） ・橋島川放水路等の詳細設計及び用地測量を実施	用地買収および工着手
		【ダム】 ダムの放流監視を住民に対して、的確に伝えるため、監視設備の改良及び監視設備の増設	I					<水文観測所の停電対策> ・浸水・停電を実施。 平成30年度	<水文観測所の停電対策> ・対策不要													・サイレン・スピーカー等の設備の改良及び増設	平成30年～令和2年	未実施			
2. ソフト対策の主な取組																											
①逃げ遅れゼロに向けた迅速な避難行動のための取組																											
■情報伝達、避難計画等に関する取組																											
⑥		渡川流域を対象としたタイムライン（案）の改善・改良と継続した検討	D					タイムライン（案）の試行を行い改善・改良を図るとともに、広域避難に関する課題等を継続して検討する 平成28年度～平成30年	検討済み	令和元年出水期より渡川流域を対象としたタイムラインの本運用開始	タイムライン（案）の試行を行い改善・改良を図るとともに、広域避難に関する課題等を継続して検討する 平成28年度～平成30年	検討済み	令和元年出水期より渡川流域を対象としたタイムラインの本運用開始	タイムライン（案）の試行を行い改善・改良を図るとともに、広域避難に関する課題等を継続して検討する 平成28年度～平成30年	検討済み	令和元年出水期より渡川流域を対象としたタイムラインの本運用開始	タイムライン（案）の試行を行い改善・改良を図るとともに、広域避難に関する課題等を継続して検討する 平成28年度～平成30年	検討済み	令和元年出水期より渡川流域を対象としたタイムラインの本運用開始	タイムライン（案）の試行を行い改善・改良を図るとともに、広域避難に関する課題等を継続して検討する 平成28年度～平成30年	検討済み	令和元年出水期より渡川流域を対象としたタイムラインの本運用開始	タイムライン（案）の試行を行い改善・改良を図るとともに、広域避難に関する課題等を継続して検討する 平成28年度～平成30年	検討済み	令和元年出水期より渡川流域を対象としたタイムラインの本運用開始		
		氾濫が発生した場合の浸水区域として対象となる地区名まで表示した洪水予報文の改良	I																			・氾濫が発生した場合の浸水区域として対象となる地区名まで表示した洪水予報文の改良	平成28年度	H28.4から運用開始	運用を継続		
		想定最大規模の降雨に伴う洪水浸水想定区域の指定及び家屋倒壊等氾濫想定区域、地点別浸水シミュレーションの公表・周知	A, B, C																			・想定最大規模の降雨に伴う洪水浸水想定区域の指定及び家屋倒壊等氾濫想定区域、地点別浸水シミュレーションの公表・周知	平成28年度	H28.5洪水浸水想定区域の指定及び家屋倒壊等氾濫想定区域を公表 H28.5地点別浸水シミュレーションのデータを浸水ナビにて公表	出前講座等で周知を継続		
⑦		大規模水害を対象とした避難計画（広域避難含む）の作成及び避難場所の設定	D, E, G					浸水しない避難所や公園等のスペースでマイカーによる車中泊可能人数を算出し、想定避難者数の充足可能性を検討する（平成29年3月） H31.2 種多圏域内の広域避難計画の策定及び広域避難に関する協定を管内市町村と締結。別途、バス事業者も含めた緊急輸送等に関する協定も締結。	継続して実施													・市の大規模水害を対象とした避難計画の作成（広域避難含む）を支援	平成29年度	大規模水害における避難の課題を抽出 広域避難が必要となるトリガーの設定、情報発信の仕組みを構築済	市の避難計画を支援		
		河川カメラのリアルタイム映像の情報提供箇所の拡大やプッシュ型情報の発信	I					洪水情報のプッシュ型配信を活用した避難訓練を6月11日に実施	中村河川国道事務所による情報提供方法等の住民への周知を継続	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	水防情報の提供 ・高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供	・「川の防災情報」のカメラ映像箇所を拡大していく ・緊急連絡メールを活用した洪水予報の配信について平成29年5月1日より四万十市全域で運用開始。	平成29年度	H28.9から8箇所のカメラ映像箇所を拡大 緊急連絡メールを活用した洪水予報の配信について平成29年5月1日より四万十市全域で運用開始。	取り組みを継続		
		情報発信時の「危険度を色分けした時系列」表示及び「警戒級の可能性」についての改善	I																			①情報発信時の「危険度を色分けした時系列」表示及び「警戒級の可能性」についての改善を実施する 平成29年5月 (H29年5月17日～) ②危険度分布の提供 (H29年7月4日～)					
		防災行政無線の難聴地域の解消	H					区長へのアンケート調査を実施し、難聴地区を把握（平成28年7月） ・地区有線放送接続に向けての地区意向確認アンケート実施（平成29年8月30日） 30年2月末、地区有線放送への接続工事終了⇒20地区での難聴エリア縮小	RIIに3地区で地区有線放送への接続工事を実施予定																		
		放送内容の事後確認システムの周知及び市政情報メールの活用・登録推進	H, I					市公式カレンダーへの表示及び広報誌等により、防災行政無線放送内容事後確認システムを周知	継続して実施													・市の取組を支援	平成28年度～	防災パネル展（H29年8月30～9月5日）にて防災無線確認ダイヤルのパネルを掲示してPR	四万十市と連携して実施		
⑧	1	メディア連携分科会の設置	I					令和元年 未実施	令和元年 未実施	大規模氾濫減災協議会にメディア連携分科会を設置するなど、メディア連携のための協議会を設け、地域の取り組みを推進。	令和元年 未実施	令和元年 未実施	大規模氾濫減災協議会にメディア連携分科会を設置するなど、メディア連携のための協議会を設け、地域の取り組みを推進。	令和元年 未実施	令和元年 未実施	大規模氾濫減災協議会にメディア連携分科会を設置するなど、メディア連携のための協議会を設け、地域の取り組みを推進。	令和元年 未実施	令和元年 未実施	令和元年 未実施	令和元年 未実施	令和元年 未実施	大規模氾濫減災協議会にメディア連携分科会を設置するなど、メディア連携のための協議会を設け、地域の取り組みを推進。	令和元年 未実施	令和元年 未実施			



〇概ね5年で実施する取組

項目	事項	内容	記号	四万十市				高知県				気象台				国土地理院				四国地整			
				実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
15	避難訓練への地域住民の参加促進	関係機関が連携して実施する。自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、これまでの実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等で共有	I	H29にブッシュ型配信を活用した避難訓練を中村地区で実施。	継続して取り進む	関係機関が連携して実施する。自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について支援	随時																
				H29にブッシュ型配信を活用した避難訓練を中村地区で実施。	継続して取り進む																		
				H29にブッシュ型配信を活用した避難訓練を中村地区で実施。	継続して取り進む																		
				H29にブッシュ型配信を活用した避難訓練を中村地区で実施。	継続して取り進む																		
				H29にブッシュ型配信を活用した避難訓練を中村地区で実施。	継続して取り進む																		
				H29にブッシュ型配信を活用した避難訓練を中村地区で実施。	継続して取り進む																		
				H29にブッシュ型配信を活用した避難訓練を中村地区で実施。	継続して取り進む																		
16	高齢者福祉部局の協議会への参加	高齢者福祉部局についても、協議会等へ参加し情報共有を実施。	J	R1.5 幹事会から参加し情報共有																			
				R1.5 幹事会から参加し情報共有																			
16	地域包括支援センターでの情報提供	地域包括支援センターにハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等の防災関連のパンフレット等を設置。	J	地域包括支援センターにハザードマップを配置すると共に、利用者への情報提供がスムーズに行われるよう、職員・市内のケアマネージャーを対象とした学習会の開催に向けて準備中	R1.7 地域包括支援センター職員及び市内のケアマネージャーを対象とした学習会を開催予定																		
				地域包括支援センターにハザードマップを配置すると共に、利用者への情報提供がスムーズに行われるよう、職員・市内のケアマネージャーを対象とした学習会の開催に向けて準備中	R1.7 地域包括支援センター職員及び市内のケアマネージャーを対象とした学習会を開催予定																		
16	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成を推進。	J	市内の要配慮者施設に作成状況に関するアンケートを実施すると共に、作成を要請	作成の進捗管理																		
				市内の要配慮者施設に作成状況に関するアンケートを実施すると共に、作成を要請	作成の進捗管理																		
17	住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	モデル地区を選定し、「マイ・タイムライン」の作成についてワークショップを実施	C	H30年6月～7月にタイムラインワークショップをモデル地区で実施	ワークショップでの取組を防災士を中心に他の地区にも展開	マイ・タイムライン作成を支援	随時																
				H30年6月～7月にタイムラインワークショップをモデル地区で実施	ワークショップでの取組を防災士を中心に他の地区にも展開	マイ・タイムライン作成を支援	随時																
18	地域防災力の向上のための人材育成	地域の防災リーダーとなるべき防災士の育成、強化の推進	C	防災士の資格取得要請H30年34名取得 ・防災士のスキルアップのための研修会等開催 ・防災士としての地区内活動（学習会での講師活動）の支援	継続して取り進む																		
				防災士の資格取得要請H30年34名取得 ・防災士のスキルアップのための研修会等開催 ・防災士としての地区内活動（学習会での講師活動）の支援	継続して取り進む																		
18	ダム操作に関する地元関係者への周知		B																				

2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																							
15	消防団員と兼任する水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防関係機関が一体となった情報伝達訓練を実施	L, R	毎年(出水期前)	H28.5情報伝達訓練等実施 H29.5情報伝達訓練等実施 H30.6情報伝達訓練等実施	R1.5 情報伝達訓練等実施	水防計画書の作成および伝達訓練の実施	毎年(出水期前)	H28.5情報伝達訓練等実施 H29.5情報伝達訓練等実施 H30.4情報伝達訓練等実施	R1.4情報伝達訓練等実施													
				毎年(出水期前)	H28.5情報伝達訓練等実施 H29.5情報伝達訓練等実施 H30.6情報伝達訓練等実施	R1.5 情報伝達訓練等実施	水防計画書の作成および伝達訓練の実施	毎年(出水期前)	H28.5情報伝達訓練等実施 H29.5情報伝達訓練等実施 H30.4情報伝達訓練等実施	R1.4情報伝達訓練等実施													
15	水防連絡会等による消防団員と兼任する水防団等との洪水リスクの高い区間の共同点検	水防連絡会の開催及び重要水防箇所の見直し	L, M	毎年(出水期前)	H29.5.23水防連絡会開催 H30.6.5水防連絡会開催	R1.5 水防連絡会開催	水防連絡会の開催及び重要水防箇所の共同点検	毎年(出水期前)	H29.5.23水防連絡会開催 H30.6.5水防連絡会開催	R1.5.31に開催													
				毎年(出水期前)	H29.5.23水防連絡会開催 H30.6.5水防連絡会開催	R1.5 水防連絡会開催	水防連絡会の開催及び重要水防箇所の共同点検	毎年(出水期前)	H29.5.23水防連絡会開催 H30.6.5水防連絡会開催	R1.5.31に開催													
15	想定最大規模の降雨に伴う洪水氾濫を想定した水防資機材の配置計画の検討	避難計画作成に向けた検討時計⇒整備 水防資機材整備の必要性を検討 H31年度、中防川の浸水想定区域である中防分団、東中防分団に救命用ボートを各1艇整備	N	平成29年度～	浸水想定区域に未整備であった救命用ボートの購入検討(高知県防災認定登録商品に関する学習会を水防団各分団長へ実施)(平成29年9月)	救命用ボートの整備を継続 R1.2既整備予定	県の水防倉庫に備蓄済 水防計画で必要に応じて市への資材提供を実施	実施済	水防計画で必要に応じて市への資材提供を実施	随時													
				平成29年度～	浸水想定区域に未整備であった救命用ボートの購入検討(高知県防災認定登録商品に関する学習会を水防団各分団長へ実施)(平成29年9月)	救命用ボートの整備を継続 R1.2既整備予定	県の水防倉庫に備蓄済 水防計画で必要に応じて市への資材提供を実施	実施済	水防計画で必要に応じて市への資材提供を実施	随時													
15	自主防災組織等の水防、避難支援活動への参画を促進し、関係機関が連携した水防訓練の実施	行政関係機関、水防団、自主防災組織が連携した水防訓練の実施	M	毎年(出水期前)	H28.6高知県総合防災訓練に参加 防災士の育成推進(H29年度42名が新たに資格取得)	国交省主催の水防工法講習への参加 防災士の育成を継続 地域リーダー養成講座を実施	国交省主催の水防工法講習への参加	毎年(出水期前)	H28.6高知県総合防災訓練開催	出水期までに開催													
				毎年(出水期前)	H28.6高知県総合防災訓練に参加 防災士の育成推進(H29年度42名が新たに資格取得)	国交省主催の水防工法講習への参加 防災士の育成を継続 地域リーダー養成講座を実施	国交省主催の水防工法講習への参加	毎年(出水期前)	H28.6高知県総合防災訓練開催	出水期までに開催													
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																							
15	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び訓練の支援(市・県・国・警察・消防・鉄道・バス・介護施設等の関係機関が合同で実施)(再掲)	今後作成する避難計画に要配慮者利用施設に関する章等を規定し、関連機関と連携して実施する。	F, J	～令和3年度	介護施設利用者を対象とした避難訓練を関係機関合同で実施(平成29年2月25日)	継続して実施	市で実施する避難訓練等の支援 関連機関と連携して実施する。	随時	要配慮者利用施設の管理者向けに説明会を実施(平成30年1月30日実施) 市で実施する避難訓練等の支援 関連機関と連携して実施する。	随時													
				～令和3年度	介護施設利用者を対象とした避難訓練を関係機関合同で実施(平成29年2月25日)	継続して実施	市で実施する避難訓練等の支援 関連機関と連携して実施する。	随時	要配慮者利用施設の管理者向けに説明会を実施(平成30年1月30日実施) 市で実施する避難訓練等の支援 関連機関と連携して実施する。	随時													

2. ソフト対策の主な取組 ③社会経済活動の回復を可能とするための排水活動等の取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																							
15	氾濫水を迅速に排除するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、想定最大規模の降雨に伴う洪水氾濫を想定した排水計画の作成	排水施設の共有、排水手法等の検討を行い、想定最大規模の降雨に伴う洪水氾濫を想定した排水計画の作成	G, K, P, Q	平成32年度	H30年度排水準備計画の素案作成に協力	継続して実施																	
				平成32年度	H30年度排水準備計画の素案作成に協力	継続して実施																	
15	関係機関と連携した排水訓練の実施	排水ポンプ車操作訓練等への参加	P, R	毎年(出水期前)	国交省主催の訓練への参加	毎年(出水期前)	国交省主催の訓練への参加	毎年(出水期前)	国交省主催の訓練への参加	毎年(出水期前)													
				毎年(出水期前)	国交省主催の訓練への参加	毎年(出水期前)	国交省主催の訓練への参加	毎年(出水期前)	国交省主催の訓練への参加	毎年(出水期前)													
15	排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の検討	施設別浸水深把握・対策等検討	O, Q	期間内継続実施	想定最大規模の降雨に伴う洪水浸水想定区域の浸水深データ等を収集・整理中	継続して検討	非常用電源設備を庁舎屋上に設置済	実施済															
				期間内継続実施	想定最大規模の降雨に伴う洪水浸水想定区域の浸水深データ等を収集・整理中	継続して検討	非常用電源設備を庁舎屋上に設置済	実施済															
15	相ノ沢川総合内水対策計画に基づくソフト対策	条例等による土地利用に関するルールづくり、内水ハザードマップの作成などを実施	G	平成28年度～	H31.1 相ノ沢川の流域地域である東中防地区を対象とした水害に関する学習会を関係機関と連携して実施(市・気象台、中防川総合開発、内閣府)	継続して実施	「水害に強いまちづくり」の実現に向けた四万十市の取組を支援・協力	平成28年度～	相ノ沢川、鶴島川等河川水位データを高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供(平成27年度実施)	四万十市と連携して実施													
				平成28年度～	H31.1 相ノ沢川の流域地域である東中防地区を対象とした水害に関する学習会を関係機関と連携して実施(市・気象台、中防川総合開発、内閣府)	継続して実施	「水害に強いまちづくり」の実現に向けた四万十市の取組を支援・協力	平成28年度～	相ノ沢川、鶴島川等河川水位データを高知県水防情報システムのウェブサイトにより情報を提供(平成27年度実施)	四万十市と連携して実施													
【ダム】	洪水貯留準備操作(事前放流等)の充実を図り、より多くの容量を確保することを検討		G	令和元年度																			
				令和元年度																			
15	大規模災害時の地理情報提供		I																				